

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度 6月

防犯は地域の声掛けから

校長 菊池 修

先日、川崎市で悲しい事件が起こりました。様々な防犯に向けた取組も行われていた中でも事件は起こりました。被害に合われた方、そのご家族の方の悲しみは計り知れません。

最近、九小の学区域でも不審者の情報が入ってきています。お便りやメールでお知らせもいたしましたが、児童に対して不審な声を掛けたり、カメラで児童を撮影したりということがありました。目的はわかりませんが、無断で児童を撮影する行為は許されません。ましてや今はSNS等の問題もある時代です。撮影した写真が、インターネット上にアップされるようなことがあったら大変なことです。

不審者の情報が入った後、目撃された場所やその他の学区域を教員が手分けをしてパトロールをしました。やはり、大人の目がある時にはそのような事が起こりませんでした。また、保護者・地域の方が子どもたちの登校時刻に外に出てくださったり、子どもたちと一緒に歩いてくださったりしたので、大人の目が不審者の行動を防ぐ形になったのかもしれない。

私の家内の実家は新潟県にあります。その町では、日頃から道で会う人にあいさつをする習慣が定着しています。初めてその町に行った時、家内の実家の周りを歩いていた時にも、近所の方から「ごめんください。」とあいさつをしていただきました。（「こんにちは」より「ごめんください」があいさつの言葉として日常的に使われている町です。）もちろん、初めて行った時なので、顔見知りの方ではありませんでした。そんなに、人通りの多い町ではありませんが、近所の方はもちろんのこと、郵便配達の方、自転車で通り過ぎる方、初めて会う方にも「ごめんください」のあいさつが交わされています。

このような文化があると、不審者が現れるということは少ないだろうなと思いました。不審者の多くは人の目が気になるようです。ましてや、声を掛けられるとなると余計に大胆な行動に出ることは難しいかもしれません。

人通りの多い場所や道ではお互いに声を掛け合うというのはなかなかできませんが、登下校の時間帯の通学路では、大人の方もお互いに声を掛け合う、大人と子どもたちがあいさつを交わすという雰囲気が定着すると、不審者の犯罪を防ぐことにもつながるのではないのでしょうか。

今回の川崎市の事件のように、防ぎきれなかった場合もありますが、大人の目があるという地域になっていることで、不審者が離れていく地域になると思います。学校でも不審者に出会ってしまった時の対応について指導をしていますが、保護者・地域の皆様にも引き続き子どもたちの見守りをお願いいたします。